

島のひろば

第669号

「島のひろば」編集委員会 電話04992-2-8256・
Eメール・jcposhima@yahoo.co.jp
www3.plala.or.jp/jcposhima/
検索サイトからはJCPOSHIMA
くらしの相談は共産党町議団へ
山田2-3670 橋本2-3614 小池2-9318



許せますか？ “守り”を口実に 世界第3位の 軍事大国日本

世界第3位の軍事費大国

軍事費上位10カ国(2021年)

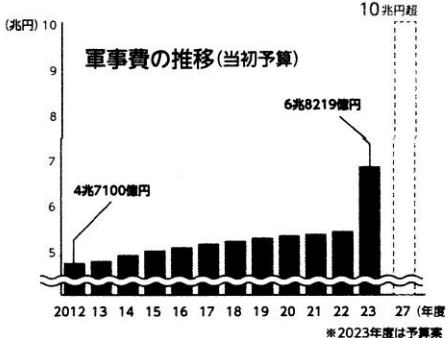
順位	国名	金額(億ドル)
1	アメリカ	8007
2	中国	2934
	日本	10??
3	インド	766
4	イギリス	684
5	ロシア	659
6	フランス	566
7	ドイツ	560
8	サウジアラビア	556
9	日本	541
10	韓国	502

軍事費が倍増すると

「岸田政権の「敵基地攻撃する国」につくりかえる」
この憲法解釈を紙くずのように投げ捨て、日本を「戦

来、「平生から他国を攻撃し、脅威を与える兵器を保有することは憲法で認められない」と、いつかんと説明してきました。
政府は一九五九年以来、「平生から他国を攻撃し、脅威を与える兵器を保有することは憲法で認められない」と、いつかんと説明してきました。

大軍拡・大増税の道を歩んだら、大切なものが壊れます。
○憲法と立憲主義が壊れます。
○日本の平和が壊れます。
○暮らしと経済が壊れます。



GDP比2%、年10兆円を超える軍事費となれば、ロシア、イギリス、フランス、ドイツなどを一気に追い抜くことに。「世界に脅威を与える軍事大国」そのものです。

撃能力の保有」は絶対に許せません。軍事費は、来年度以降に使う「防衛力強化資金」をあわせ、一気に今年度の倍、10兆円に。5年後には文教予算の2倍以上に。も。そんな国が「平和国家」と言えるでしょうか。

いま必要なのは「対話の外交」です

戦争をおこさないための外交に知恵と力をつくす——これこそ政治のやるべきことです。
日本共産党は、敵基地攻撃能力の保有と大軍備拡張に反対する一点での国民的共同を広げ、岸田政権による「戦争国家づくり」への暴走を打ち破ることを心から呼びかけます。

ASEANと協力し、東南アジアを平和の地域にするために、日本こそ憲法9条

8 平和憲法を生かした町政を

- ①自民・公明岸田政権が「専守防衛」から「敵基地攻撃」のための 軍備大拡大・大増税で、アメリカと共に「戦争する国づくり」につき進んでいます。国会無視、憲法無視、平和外交無視の暴走政 治を許さず、憲法を生かした希望の政治へ転換させます。
- ②町政でも、憲法92条の「地方自治の本旨」である「住民自治」「団体自治」(町の独立性)を生かし、主な施策は計画段階から住民参加ですすめます。
- ③戦後、「独立大島憲法」を制定し、「万邦和平(世界平和)の一端を担う」と明記した大島の先人たちの思いを受け継ぎ、「核廃絶・平和の町宣言」の制定をめざします。
- ④戦争遺跡の保存と説明板の設置をすすめます。
- ⑤島の港湾・空港を軍事演習に利用することに反対します。



日本共産党の2023町議会議員選挙の「重点政策」より

3月町議会報告

令和5年度予算承認

去る3月7日から16日まで
の会期で令和5年度町議会第1
回定例会が開かれました。今

回は令和5年度予算を審議
する議会でしたが、町長も改
選ということで今回の予算は、
いわゆる骨格予算として提案さ
れ、新規事業などは改選後の
議会に補正予算として提案さ

れ肉付けされることになりま
す。それでも予算規模は、一般
会計82億6万円、特別会計
を合わせるとうとう億7306万
4千円、前年比4.1%となりま
す。

また、新年度は、令和13年
度までの町行政の道筋・方向
性を決める「第7次大島町基
本構想・前期基本計画」策
定、どの地区でも要求の強い公
共交通をどうするかを決める
「大島町地域公共交通計画」
も策定されます。

主な事業内容

ジオパーク関連として、日本
ジオパーク全国大会の開催、ジ
オパークビクターセンター機能

としての火山博物館改修、大
島特有の民俗学・観光学等を
研究する学術研究奨励事業
の実施。

建設関係では、元町湯の浜
橋の長寿命化工事、都の事業
と並行した形で元町地区無
電柱化整備、北の山川、沢立
沢整備、元町家の上第7邸地
建設などが実施されます。

福祉関連では、出産・子育
て応援事業として、妊娠した
女性へ5万円のギフト券進呈
が新規事業として行なわれま
す。昨年12月議会で承認され
た高校生等の医療費の無料
化実施、今年度から実施した
島外医療機関によるガン検診
の継続等が実施されます。

議会基本条例制定

今議会には議会基本条例
が提案され全会一致で可決し
ました。この条例は開かれた議
会、民主的な議会を作るため
に議会改革を進めてきました
が、いわばその集大成として、特
別委員会を立ち上げ、二年
余の時間をかけて討論を重ね
作り上げたもので、共産党から

は山田・小池議員が参加し奮
闘してきました。

今期限りで勇退する共産
党橋本議員は最後の一般質
問を行ないました。

今回橋本議員が取り上げ
たテーマは、今年中に値上げが
予想される国保税の問題と、
「アメとムチ」政策となっているマ
インバー推進問題でした。

どちらも住民の生活に直結
した問題であり、しかも、国や
都が行なおうとしていることを
そのままつてしまえば住民に
は多大な負担が掛かったり、個
人情報流失等の不利益が生
じるかもしれないという問題で、
これまで住民のいのちとくらし
を守ることを最優先に活動し
てきた橋本議員らしい質問で
した。(詳細は、山田・小池議
員の質問とともに次号以降で
掲載します)



大島文学・紀行散策

拾遺編

耕平道遥

— 童話・書簡・日記を読む

五時

535 良
得 孝

「力嘶」

「ちからばなし」
前号に引き続き、「力嘶」
を紹介する。伊豆大島岡田村
の漁師、伝吉が神様に願かけ
をした。その内容とは。
——どうぞ、わたくしに力
を下され。その御礼さまに
は、このわたくしの寿命を四
十二日ちぢめてお返しいたし
ます——
それからというもの、伝吉
は、大力無双むすぶの男になりまし
た。人から近しく伝えきくと
ころによりますと、島の漁師
たちが十六人がかりでひきあ
げる漁船を、伝吉は一人でひ
きあげたそうです。岡田村の
村社内に、伝吉の力石という
ものがあります。いつやらの
年、友だちと二人で、見に
行ったことがありましたが、

さして大きなものとも見えま
せんで、試しに押し見ま
したところ、一寸一分動かす
ことができませんでした。そ
れを伝吉は、頭上に高々とも
ちあげたのだそうです。神さ
まへ願かけしたとおり、この
伝吉は、四十二という年で死
にました。すもうずきのわた
しは、もし、こんな大力の男
が、すもうとりになったら、
それこそ、天下無敵であろう
といいましたところ、伝吉を
知っている漁師たちのいうに
は、「あれは、すもうはそれ
ほど強くなかった。浜で遊
び、すもうをとってよく転が
された」
とのことでした。

(以下次号)